

学校感染症等に係る登校に関する意見書

年 組 名 前 (男・女)
生年月日 平成 年 月 日 生まれ

□ 下記の疾患に罹患したため、学校保健安全法施行規則にもとづき療養を指示していましたが、感染のおそれがきわめて少なくなったので 月 日以降の登校が可能であると判断しました。

第1種感染症 □ () [治癒]

第2種感染症 □ インフルエンザ(A型・B型) [発症後5日経過かつ、解熱後2日経過]
□ 麻疹 [解熱後3日経過] □ 水痘 [すべての発疹の痂皮化]
□ 風疹 [発疹消失] □ 咽頭結膜熱 [主要症状消 後2日経過]
□ 流行性耳下腺炎 [耳下腺、顎下腺または舌下腺の腫脹が発現した後5日経過し かつ全身状態良好]
□ 百日咳 [特有の咳消失 または 5日間の適正な抗生物質製剤療法が終了]
□ 結核 [感染のおそれなし] □ 髄膜炎菌性髄膜炎 [感染のおそれなし]

第3種感染症 □ 流行性角結膜炎 □ 急性出血性結膜炎
[感染のおそれなし] □ 腸管出血性大腸菌感染症(*) (*便の細菌培養において2回陰性が確認されたものとするのが一般的である。
□ コレラ □ 細菌性赤痢 □ 腸チフス □ パラチフス

◆第3種その他の感染症 [①～④は、出席停止により感染拡大防止効果があるもの]

- ① A型溶血性連鎖球菌咽頭炎(溶連菌感染症)
- ② アデノウイルス感染症
- ③ 感染性胃腸炎(ノロウイルス、ロタウイルス、アデノウイルスなどによるもの)
- ④ 急性細気管支炎(主としてRSウイルス感染によると考えられるもの)

[その他、個人の療養効果を重視した感染症]

マイコプラズマ感染症/異型肺炎・単純ヘルペス歯肉口内炎・带状疱疹・()

□ いまだ病名の確定には至っていませんが、下記のような病状から「感染のおそれなし」と判断できず、現時点での登校は不適切であると判断します。

血液・粘液を含む便 ここ 24 時間以内の複数回の嘔吐 原因不明の発しん
よだれを伴う口内痛・口内炎 発熱・脱水など全身症状と持続する原因不明の腹痛
がんこな咳漱 唾液腺の腫大

□ その他の意見:

平成 年 月 日

医療機関名:

診察医師(診察した医師に限る):